

生誕一〇〇年

千葉禎介写真展



《休日》1947年、ゼラチン・シルバー・プリント

農村に見出した美、そのときの光。
あなたが撮りたかったもの。

2017年 2018年
12月2日[土] - 1月31日[水]

■ 休館日：〔年末休館〕

2017年12月29日(金)～31日(日)

〔メンテナンス休館〕

2018年1月9日(火)～18日(木)

※会期中、展示替えはありません。

■ 開場時間：午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■ 観覧料：一般 500円、団体(20名以上)・シルバー 450円

障害者無料(介添1名まで無料)、

大学生以下無料(要学生証提示)

〔主催〕秋田県立近代美術館

〔共催〕ABS秋田放送

〔後援〕横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、河北新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、産経新聞社秋田支局、NHK秋田放送局、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、横手かまくらFM、エフエムゆーとびあ、FMはなび

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46 (秋田ふるさと村内)

TEL | 0182-33-8855 FAX | 0182-33-8858 E-mail | akitamma@rnac.ne.jp

Twitter @akitamma Website http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html

生誕 100年 千葉禎介写真展

2017年12月2日[土] - 2018年1月31日[水]

本展は、横手市で活動を続けた写真家・千葉禎介(1917-1965)の生誕100年を記念する回顧展です。

ほぼ独学で写真の技術を習得した千葉は、横手市で呉服商、のちに写真店を営みながら、秋田を離れることなく秋田風俗や農村を題材に写真を撮り続けました。身近な人々を温かなまなざしで見つめながら撮影されたその作品は、当時の写真専門雑誌が行っていた月例コンテスト等への投稿を機に、中央写真でも評価されるようになっていきました。本展では千葉が手掛けた仕事の全体像と、その作品の魅力をご紹介します。

併せて、秋田の写真界に影響を与えた木村伊兵衛、秋田派と呼ばれた秋田在住のアマチュア達の中から岩田幸助・大野源二郎ら、関連写真家の作品も展示し、千葉の人物像にも迫ります。



《雀追い》1943年頃、ゼラチン・シルバー・プリント



《焚天祭》1963年、ゼラチン・シルバー・プリント



《鯉売り》1952年、ゼラチン・シルバー・プリント



《露路の初雪》1952年、ゼラチン・シルバー・プリント



《夕陽の頃》1958年、モダンプリント

関連イベント

■ 記念講演会「千葉禎介の写真—昭和・秋田の記録と記憶」

〔日 時〕 2017年12月2日(土) 13:30~15:00

〔講 師〕 三上満良氏(宮城県美術館 副館長)

〔場 所〕 近代美術館 6階研修室

※参加無料・要申し込み(先着順、定員80名)受付は11月2日(木)より。

■ 担当学芸員によるギャラリートーク(40分程度)

〔日 時〕 2017年12月9日(土) 14:00~

2018年1月7日(日) 14:15~

〔場 所〕 秋田県立近代美術館 5階展示室内

※要観覧券、申込不要

■ ミュージアムコンサート

「火水(カミ)の歌~Somewhere in the World」

〔日 時〕 2017年12月3日(日) 13:30~14:30

〔演奏者〕 歌:堀澤麻衣子氏 ピアノ:金子雄太氏

〔場 所〕 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

※鑑賞無料(展覧会は要観覧券)、申込不要

アクセス & MAP

- JRとバス JR 横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で「ふるさと村」下車
- 自動車 秋田自動車道 横手インターより3分
※車いす対応駐車場がございます。ご利用の際は美術館にお電話ください。
- 高速バス 高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車徒歩10分
※「横手インター入口」は、秋田行きは乗車のみ、湯沢行きは降車のみ。

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46 (秋田ふるさと村内)
TEL | 0182-33-8855 FAX | 0182-33-8858 E-mail | akitamma@rnac.ne.jp

